

埼玉県、東京都に14カ所の直営式場を「福祉葬祭」のブランドで運営しているフルールウーノ株式会社は、今年で創業45年になる。山田社長は25年の営業と管理職経験を経て2年前に社長に就任した。「葬儀というものは、一つの生活文化であるが3年間のコロナ禍で葬儀の形態が変化してきた」という。以前は、みんなで集まって葬儀を出す形だったが、小規模、家族葬が認知されてきたという。少子高齢化などによって葬儀も変わっていきだろーうと思っていたが、コロナウィルスの蔓延で一気に変わってしまった。「今までのやり方での葬儀式が難しく、新しい様式を取り入れながら葬儀を施行してき



フルールウーノ株式会社 代表取締役社長

山田 秀男氏

大切な人への想いをカタチに

た。厳しい3年間でした」と振り返る。今後は、人を育てていくことが、最も大事だと感じている。「昔の葬儀は一つの決まった形があったが、これからは、その時、その場合による提案力が重要になってきます。短い打ち合わせの時間で

ながら、あらゆるニーズに対応していく。また、葬儀では、お客様の安全を第一と考え、かなりの投資となったが、2020年8月葬祭業界内初AI搭載のサーモグラフィ11台、2020年9月冠婚葬祭業界初クラス最強60畳対応業務

用最高級空気清浄機ジアイーノ20台をはじめ空気清浄機220台導入、全施設全室へ設置、2020年11月ノータッチアルコールディスプレイ33台を各式場に設置、また2020年2月から扉・ドアノブ・テーブル・ハンガーからボ

ールペンの1本まで人の触れる部分全てに抗菌剤塗料の塗布をし、受け付けには必ずスタッフをつけて検温、除菌を促している。

葬儀において形や規模が変わっても故人とお別れするときの気持ちは不変です。『大切な人への想いをカタチに』し記憶を共有できる空間の創造をお手伝いすること、また葬儀の仕事を

いただいた感謝する、それにより、お客様からも感謝されるという気持ちを忘れず、事業を推進していく。「葬儀は1つのけじめの儀式です。どのような時代にあっても祖先を敬い弔う事は重要である」ということを、葬儀を通じて残していきたい」という。



福祉葬祭

フルールウーノ株式会社

さいたま本社 さいたま市浦和区領家 7-5-3

TEL 0120-37-4949

